

A stylized graphic on the left side of the page depicts several hands in shades of blue and light blue, cupping a central sun. The sun is composed of concentric circles in red, yellow, orange, and purple. The background is a solid light blue.

ペーター・リンツ

アントニウス農場長 Leiter antonius Hof

(公益有限会社聖アントニウス農業部門長)

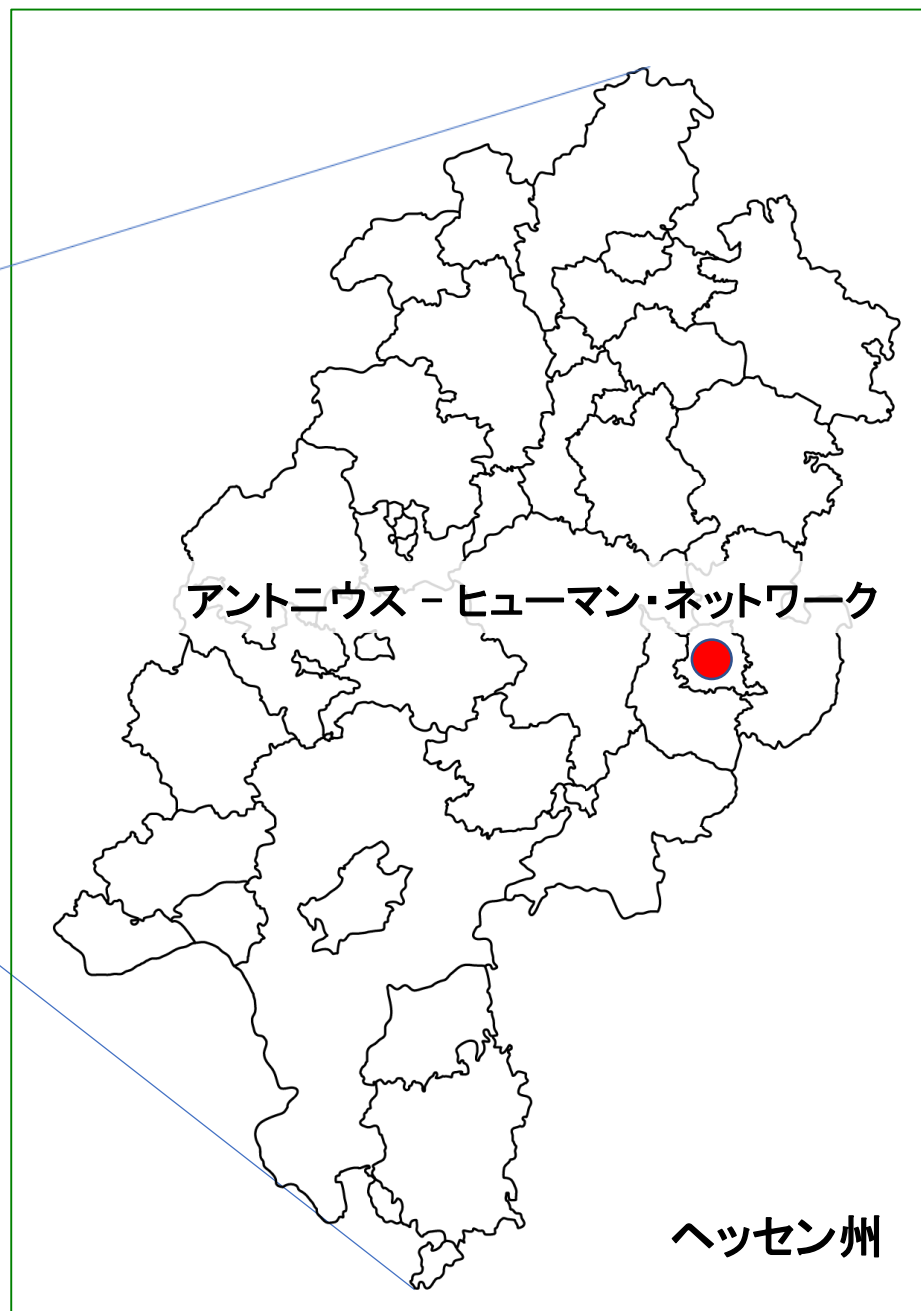
Peter Linz

アントニウス –
ヒューマン・ネットワークによる
農業分野における障害者就労と
6次産業化

原題：Landwirtschaft und Lebensmittel-Verarbeitung
mit Menschen mit Behinderung
beim antonius - Netzwerk Mensch



ドイツ



ヘッセン州

アントニウス－ヒューマン・ネットワークの概要:

- 1904年にフルダ市民のマリア・ラングが設立した
- キリスト教の精神に基づいている
- 350人が暮らしている(障害のある人となない人)
- 1.300人が働いている
- 150人の子どもと青少年が学校や職業訓練に通っている
- 360人のボランティアが活動している
- 大学入学待機をする若者によるボランティア70人を含む

(社会・環境ボランティア年/Voluntary social and ecological year, 連邦ボランティア)

アントニウスホーム 1960年頃
(Antoniusheim)





アントニウス 2019年



アントニウス農場

- ソーシャルな農業
- エコロジーと経済性を根幹に据えた経営
- 有機農業連合会のビオランド(Bioland)に所属する認証農場
- 高付加価値のある生産品

1904年 自給のための生産

1988年 有機農業への転換

1989年 地域のパートナーとなっている農場との
ネットワーク構築

1994年 フルダのハイムバッハ地区に新拠点を整備

A winter scene at Antoniushof farm. The foreground is filled with a deep layer of snow. A wooden fence, also covered in snow, runs across the frame. In the background, there are several buildings, including a large red barn with a stone wall and a smaller building with a clock tower. The sky is blue with some clouds.

冬のアントニウス農場

夏のアントニウス農場

農場では、すんなりと、自分や誰かのために、
そして、価値を生み出すべく働ける



人と動物が、同じ目線に立てる



自然の中で働ける



理解力がつく



働くことは楽しい



意義のあることが経験できる



みんなで助け合える



自信が持てる



Glückliche Kühe und glückliche Menschen

共同を経験する



園芸部門

多様な作物を栽培することで、
通年で生産や食品加工の仕事ができる



Zurück zum
Inhaltsverzeichnis >>

1904

1988

1993

2015

2018

農業

及び

自給自足

有機

園芸

食堂

アントニウスでの加工と販売

カフェ
パン屋
ケータリング
ショップ

ショップ - カフェ

修道院にあるカフェと
セミナーハウス

レストラン

中心市街地での販売

有機農業による
500 人の
就労・雇用の場

パートナーと
なっている
9つの農場

- 育成牛 (未經産牛)
- 肥育牛
- 羊
- 養鶏 × 2
- 馬鈴薯
- 乗馬クラブ (セラピー)
- 酪農と養豚

精肉店

地域の
有機食品卸売業,
小売業

病院の食堂

飲食店・
レストラン

アントニウス農場

障害者 75人
職員 30人

畑地

- 穀物 135 ha
小麦, ライ麦, 大麦, スペルト小麦
- 馬鈴薯 30 ha
- 野菜 5 ha
ニンジン, キャベツ, タマネギ

飼料用作物:

- 豆 40 ha
- アルファルファ 50 ha

牧草地 120 ha

酪農

- 乳牛 120 頭
- 子牛 120 頭

養豚

- 母豚 40 頭
- 肥育豚 800 頭

馬鈴薯の加工

貯蔵, 選別,
剥皮 (皮むき)

農場内の カフェ ショップ

バイオガス施設

アントニウス ショップ

アントニウス園芸

- 露地栽培 4 ha
ニンジン, キャベツ, タマネギ …
- 温室栽培 2.000 m²
トマト, キュウリ, パプリカ, ホウレンソウ …
- (散在する) 果樹
リンゴ, スグリ

障害者 80人, 職員 20人

中心市街地にある
お店カフェ

修道院にある
カフェとセミナーハウス

パン屋

乳業工場

カフェテリア

学校 6 校
幼稚園 8 園

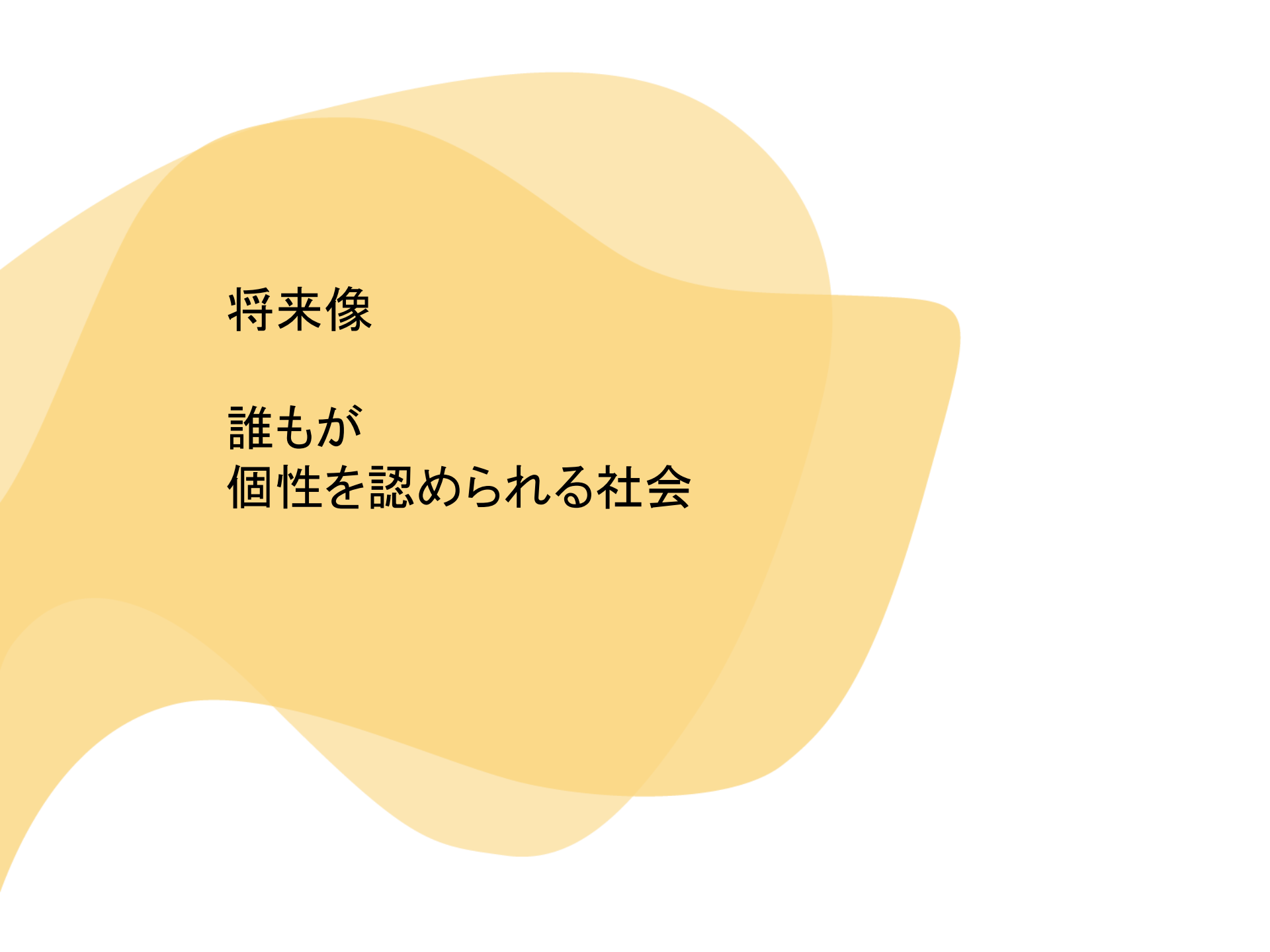
ケータリング

アントニウス
カフェ

アントニウス食堂
共同生活
1500 食

食品加工

食品加工



将来像

誰もが
個性を認められる社会

名称をアントニウス「ホーム」から「ネットワーク」に変更した理由

antonius tauscht:
アントニウスは 交換する

~~Heim~~
ホーム

gegenではなく、
Netzwerk
ネットワーク

Antoniusheim wird antonius.
「アントニウスホーム」は、ただの「アントニウス」になる

new
neu

アントニウス
ヒューマン・ネットワーク

antonius
Netzwerk Mensch

antonius-fulda.de

- ・ これまでにも増して、人が中心にいる
- ・ ハンディキャップのある人に対する
接し方と常識を変える
- ・ オープンで協力的になる

それに続いて:

- 社会が振り向いてくれるような、
インクルーシブな存在に成長する
- 多くの新しい事業所を展開する。
例えば、フラウエンベルク修道院との
共同事業(セミナーハウスとカフェ)、
アンビニウス(多世代交流拠点)、
アントス(レストラン)、
お店カフェ(工芸品店とカフェ)...
- ホームの敷地を
インクルーシブ街区に再整備



今後の取組 ...

- 新しい経済的な職域を開拓
- インクルージョンの賃金・工賃支払システムを構築
- ニッチ市場を開拓し、独自性を発揮
- 職業訓練を強化：
インクルージョン、かつ、国家資格の
得られる職業訓練の提供
- パートナー企業・組織を拡充する

パートナー企業・組織

右図のロゴ：

製パン、製粉、農場、乗馬クラブ、ミネラルウォーター製造、レストラン、カフェ、パーキングエリア、スーパーマーケット、工具販売、流通、家具製造、製材、ユース hostel、商業学校、シュタイナー学校、幼稚園、高齢者福祉施設、市町等

アントニウスには、
多くのパートナー企業・組織がある。
地域経済と密接に関わっている。

アントニウスのパートナー企業・組織

Partnerbetriebe antonius



今後の課題:

- ・経営体として、首尾一貫して熟慮し、行動する
- ・自立を維持しつつ、イノベーションが実現できるように成長する
- ・ノーマルな社会の達成にむけて、経済的に安定する
目標：インクルージョンの雇用市場を構築する
- ・インクルージョンの職業訓練と一般就労への移行
(一般企業等への就職)を実現するため、パートナー企業・組織、経済団体との連携を強化する

ドイツにおけるソーシャルな農業の状況 - 1

- ・ドイツでは、「障害者の権利に関する条約」の実施にあたり、障害者を受け入れるイニシアティブ(同じ志を持つ人々のグループ)が、数多く誕生しました。
- ・過去には、特別な支援を必要とする障害者が、専用の福祉施設に入所するしかなかったことがあります。
- ・今日では、企業規模の大小に関わらず、企業が障害者を受け入れることができます。企業に課せられる要求は、極力減らされる傾向にあります。
- ・障害者が中心となって、進学したい学校、働きたい就職先、暮らしたい場所や暮らし方を選ぶことができます。

ドイツにおけるソーシャルな農業の状況 - 2

- ・ 農業や園芸の分野では、それぞれの障害者が、特性にぴったりに合う仕事を見つけることができます。
そのため、農業経営を安定的に維持できるのです。
- ・ 上記のような経営体は、障害者の就労のみならず、依存症を克服しようとしている人々、社会にうまく馴染めない青少年、触法者の支援にも尽力しています。
- ・ また、余生を画一化した老人ホームで過ごしたくないと思う高齢者も増えてきています。そのような高齢者が、農村地域のイニシアティブ（同じ志を持つ人々のグループ）に受け入れられています。
そこでは、高齢者もまだ働くことができ、生き生きとした共同生活を送ることができます。



ご静聴いただきまして、どうもありがとうございます。

アントニウス - ヒューマン・ネットワークが描く未来の社会

- ・ 誰もが個性を認められる
- ・ 得意と不得意のどちらもあっていい
- ・ どのような分野でも、どのような場面でも、みんな一員である
- ・ 人々が互いに支援しあう
- ・ 人々が互いに勇気づけあいながら、成長し、自立した生活を送る
- ・ 人々が、互いのためにそこにいる